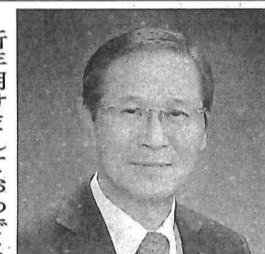


## 新社屋移転を機に 「品質」と「安全」を

(株)ウイズソル

代表取締役社長 中野克一



新年明けましておめでとうございます。

今年度の概況を振り返りますと、石油コンビナートのプラント定修工事の繁忙期が長く続き、仕事量は確実に増加しました。一方で造船部門は、LNG輸送船の連続建造に伴うアルミニウムの検査業務が一段落し、新造船受注も厳しい環境にあるため、検査に携わつてきた社員を石油関係の部署にシフトしていく計画で

昨今の人手不足に加え、今年4月から施行される働き方改革関連法で長時間労働に上限が設けられる他、派遣法の改正で派遣資格の有無が厳しく問われる事から、現場の検査員不足を如何に補うかが今後の課題と言えるでしょう。

当社では、新卒並びに中途採用による検査体制の充実に努めてきましたが、顧客の人材不足に伴う品管業務

ズが高まる「航空・宇宙分野」などに向けて、積極的な事業展開を図ることで、安心・安全な社会の構築に貢献して参ります

行なったが、各種実験ができる開発施設を広く設け、人材育成と開発体制をそれぞれ強化しました。人材育成では、熟練の検査技能者を講師に指名し、人材育成では、熟練の検査技能者を講師に指名し、

第一本社と第二本社を統合し、近隣に建設を進めています。本社新社屋に移転しました。これに伴い、社員のN.D.I.資格教育や実務教育を行った研修会や各重慶英語の研修会も実施されました。

その一環として、ISO規格化が実現しました。また、関連の品質管理業務と現業部門の作業の「一体化」や、社内事務に関する帳票類も整理・削減し、効率的に作業できる環境に整備していく改革にも着手する方針です。

さて、当社は昨年12月、製品を各種展示会にて測定できるよう改良した。昨年は、こうして

期を大きく上回る60億円を達成できそうです。ただし、私としてはなるべく無理な受注を控え、高い品質と安全安心な検査技術を皆様にお届けできるよう「信用」を第一に捉えていく所存です。現場の作業量を調整しながら、全社員一丸で検査施工に責任を持つて当たつていきたいと考えます。

この一環として、自社開発した「UTTIS-MC12」式配管RT装置、「ライニング」ができるラインや「キヤナ」も線源や治具を複数用意して、高速で検査するマシンネル式水浸UTを装備して、熱交のチエード装置の技術開発で

務など 池端社員を始められる場面も増加し、これにも対応できるよう動員力の強化にも取り組む方針です。

幸い、今年度（第59期）3ヶ月期の売上高は、プランド修工事が高水準で推移し、発電設備等の新規需要も上昇しています。

す。最近は、受験者の率も徐々に上がり、人当たりの平均資格格も1次試験・2次試験を徹底して行つてます。広島本部と千葉出張所拠点として、JII-2305に基づくNPT規格の1次試験・2次試験を徹底して行つてます。最近は、受験者の率も徐々に上がり、人当たりの平均資格格も上昇しています。

管を立体的に測定する3Dスキャナーや、タンクの奥根や煙突など高所の点検ロボセスに無人航空機ドローンを活用したいとの要望寄せられており、多様化するニーズに応えるべく開発に注力しております。

所を教  
S Z  
D I 資  
試験対  
いいま  
の合格  
社員 1  
保有数  
來年度の事業計画につ  
ては、高い品質と安全を最  
優先に捉え、我々の陣容を  
ベストな検査業務が尽くす  
る売上規模60億円を目指  
事業を推進するつもりで  
す。非破壊検査業務で差別  
化を図るには、品質と安  
しかりません。その約束

まゝのを二重にて外ヤシ開査。わフ外い市麥。とて、ま處だ。な果

、東全別でにせで最い